

# ホイール4 SHOOTING



Gianelle  
[ジェネリー]  
**PUERTO**  
[プエルト]  
T2DF [ティートゥーディーエフ]  
☎042-580-0268  
<http://www.giovannawheels.co.jp/>

2013モデル  
まだまだあるよ



ジェネリー、ジェネリー、GF、ココカチュールの4ブランドを率いるWTWグループのボス。ディコ・スラヒアン氏。70年代末に、内戦のレバノンを家族で脱出。LAでジオバンナホイールを創った。ちなみに、ジオバンナは長女、ジェネリーは次女、ココカチュールは長男の名前です。最近、タイエットに成功した模様。

ジェネリー プエルト価格表

サイズ	P.C.DxHOLE	インセット	価格 マットブラック& マシニードエッジ グロスシルバー	価格 マットブラック& マシニードボール カット
18x8.5J	112/114.3x5H	35		
19x9.5J	112/114.3x5H	40	5万1450円	5万5650円
	120x5H	35		
20x8.5J	112/114.3x5H	25/35		
	120x5H	20/35	6万6150円	7万350円
20x10.0J	112/114.3x5H	25/40		
	120x5H	20/40		
22x9.0J	112x5H	35		
	114.3x5H	38		
	115x5H	15		
	120x5H	10/30		
	130x5H	50	8万5050円	8万9250円
22x10.5J	112x5H	38		
	115x5H	20		
	120x5H	20/35		
	130x5H	45		

スポークをエグった!



▲マットブラック&マシニードボールカット



▲グロスシルバー



▲マットブラック&マシニードエッジ



1 ハブ部分が落ち込んで、そこから立ち上がるスポークが外へと伸びるコンケーブデザイン。メッシュの交点まで急激な角度で立ち上がり、リムエンドへと向かうスポーク部は外側へ広がる

2 ボールカットでサイドを深くえぐった

3 リムエンド部は内側にスポークの台座となる「インナーディスク」を備え、ステップディスク風。でも、2ピースではありません。

# ホイール3 SHOOTING

Giovanna  
[ジオバンナ]  
**ANDROS**  
[アンドロス]  
T2DF [ティートゥーディーエフ]  
☎042-580-0268  
<http://www.giovannawheels.co.jp/>



1 外に伸びたスポークがリムへと折れる造形。その折れた部分をマシニング加工している。ナイフのような鋭く妖しい光がクール

2 車体側に凹んだハブ部からスポークが外へと伸びるコンケーブデザインだ。

3 オーナメント部分も円をバランス良く配置した幾何学風デザイン



▲マットブラック&マシニードフェイス

ジオバンナ アンドロス価格表

サイズ	P.C.DxHOLE	インセット	価格(税込み)	
			クローム	マットブラック&マシニードエッジ マシニードフェイス グロスシルバー&マシニードフェイス
20x8.5J	112/114.3x5H	25/35		
	115x5H	20		
	120x5H	20/35	7万9800円	6万6150円
20x10.0J	112x5H	25/42		
	114.3x5H	25/40		
	120x5H	20/40		
22x9.0J	112x5H	35		
	114.3x5H	38		
	115x5H	15		
	120x5H	10/30		
	130x5H	50	9万6700円	8万5050円
22x10.5J	112/114.3x5H	38		
	115x5H	20		
	120x5H	20/35		
	130x5H	45		
24x10.0J	115x5H	17		
	120x5H	20/35	13万1250円	11万5500円
	130x5H	35		
	135x6H	30		
26x10.0J	120x5H	20/35	14万7000円	12万6000円
	135x6H	30		
	139.7x6H	30		



▲マットブラック&マシニードエッジ



▲クローム



▲シルバー&マシニードフェイス

昨秋のSEMASHOYで発表された新作。重厚な7本スポークで、一見何の変哲もないけれど、ディティールには最新トレンドを取り入れているのだ。

まず、スポークはハブセンターが落ちて、そこから外側へ向かって大きく伸びる「コンケーブデザイン」。途中で、リムオーバーになったところで折れるように、リムへと落ちる完

全立体デザインだ。メインカットのバリエーションはそのスポークのリムエンド部とのエッジをマシニング(切削)したもの。ホイールが回転すると、アルミ地が出た銀色の部分が鈍く光るしかけなのだ。

スポークの形状は直線的で、ジオバンナらしく全体に幾何学的なラインで構成されている。

重厚ルックに最新ワザ導入。